



うるる (東 M:3979)

バリュエーション判断

 前回 NR → NR
 (20.5.26)

取材:2020年9月9日

担当:岸 和夫

【連結】		(百万円、%、円:会/会社計画、予/エース経研予想)									
決算期		売上高	伸率	営業利益	伸率	経常利益	伸率	当期利益	伸率	EPS	配当
2021/3	1Q	635	10	-2	—	13	-64	4	-86	1.3	0.00
2018/3		1,906	11	390	62	389	81	287	19	88.7	0.00
2019/3		2,243	18	429	10	428	10	257	-10	79.1	0.00
2020/3		2,480	11	-189	—	-190	—	-207	—	—	0.00
2021/3	会	2,480	0	-340	—	-320	—	-250	—	—	0.00
		~2,920	~18	~-50	—	~-30	—	~-30	—	—	—
2021/3	予	2,900	17	0	—	20	—	20	—	5.9	0.00

【セグメント情報】	21/3期1Q	【PER】	【財務指標】	21/3期1Q
NJSS	59%	19/3	BPS	631.3円 (9/10終値)
CGSその他	14%	20/3	純資産	2,157百万円 売買単位
BPO	26%	21/3予	総資産	3,661百万円 発行株数
クラウドソーシング	1%	515.3	時価総額	10,399百万円 PBR

注:EPS、BPSは自己株式を除いて計算。

<注目ポイント>

1 入札情報速報サービス「NJSS(エヌジェス)」が収益の柱

CGS(Crowd Generated Service)事業は、クラウドワーカー(在宅ワーカー:同社が運営するクラウドソーシング・プラットフォーム「シュフティ」の登録者)約42万人を活用したビジネス。入札情報速報サービス「NJSS」は、同社がクラウドワーカーに対し、インターネット上に公示される官公庁等の入札・落札案件情報の収集を発注。収集された情報を同社が集約、入札・落札案件情報のデータベースを構築し、クライアントに提供している。

2 企業のリモートワーク普及・拡大で、「fondesk(フォンデスク)」の有料契約件数が急増

クラウドワーカーを活用した電話受付代行サービス「fondesk」は、受電内容をチャットツールで連絡。リモートワークの増加で、有料契約件数が急増。幼稚園・保育園向け写真販売管理システム「えんフォト」は、20/3月に卒園アルバム制作サービス「えんアルバム」、21/6月にiphone・ipadで写真撮影からオンライン販売が可能なアプリ「えんフォトカメラ」の提供を開始。いずれも事業拡大に向け、今後も投資を継続。

3 中期経営計画(最終年度24/3期)2年目の21/3期1Qは、営業プロセスの最適化、契約期間の長期化、アップセル等への注力が奏功、NJSSが順調に拡大

4 新型コロナウイルスの影響を鑑み、21/3期会社計画はレンジで開示

前提:上限予想は、政府・自治体による外出・営業自粛要請が1Q末で終了し、各事業へのネガティブな影響が軽微。下限予想は、上記自粛要請が4Q末まで継続し、各事業へのネガティブな影響が大。

現状では営業黒字転換の可能性は十分だが、追加投資を行うことも考慮し、エース経済研は上記を予想。

レーティングはNR継続

現状、期待先行の感はあるが、「NJSS」の収益強化は、計画以上に進捗。中長期スタンス、押し目狙いで臨みたい。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載致しました。ご確認の程、お願い致します。

《アナリストによる宣言》

私、岸 和夫は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。

また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
- また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等： エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号

加入協会： 日本証券業協会

指定紛争解決機関： 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

- 株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%の手数料(約定代金が100万円以下の場合、最低手数料2,750円)(税込み)が必要となります。
- 外国株式(中国株を除く)の取引には、国内の取引所金融商品市場における外国株券の売買等のほか、外国金融商品市場等における委託取引と国内店頭取引の2通りの方法があり、当該取引には、所定の手数料等(委託取引の場合は約定代金に対して最大11.0%(75,000円以下の場合・税込)の委託手数料及びその他現地手数料等、国内店頭取引の場合は所定の手数料相当額、等)をご負担いただく場合があります。
- 株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。
- 上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。
- 外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。
- 債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。
- 外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及びARI 免責事項等

- **当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。**本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
 - 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
 - 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は、何らの責任を負うものではありません。
- ※(著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。
- ※ 尚、出所記載なき資料は各種資料より ARI 作成。